意義ある親睦の祭典を

校友総会を迎えて

校友会長　樫本信雄

校友の皆さん、校友会年一度の祭典ともいうべき校友総会が、十月二十日の日曜日に、おなじみの大閤園で開催されます。

会員相互の親睦をはかることは校友会の重要な目的の一つであります。久し振りに顔を合わせて、お互いの健康を祝しあい、また旧師或は先輩と、学生時代の思い出話にふけることも、楽しいものです。これが校友総会の目的ともいえましょう。

総会の行事は、校友会の会則で定められている会務の報告を行うほかは、家族等を交えて、楽しい一時を過ごすことであります。母校の理事長、学長からは、母校の近況を伺うことになっています。

また昨年の秋、及び本年春に、叙勲の栄に浴された恩師、先輩に対しては、参会者一同が心から祝意を表し、また惜しくも物故された校友の方々には、謹んでその御冥福をお祈りしたいと思います。

なお、校友会の優秀支部並に支部等の発展について、功績のある先輩に対する感謝状の贈呈も例年の通り行います。

以上の行事に加え、総会を楽しくするために、校友小野栄一君（鶴田浩二）の特別出演並に、校友有志の寄贈による数多くの、景品を用意して福引を行います。懇親会は、参会者一同が飲食を共にしながら、心ゆくばかり談笑のうちに、親睦を深めることが出来ます。

と思います。また総会には、例年の如く母校応援団吹奏楽部によって、学歌その他の演奏がなされ、総会に花をそえて賑うことになっています。

ところで、昨年までは往復はがきによって、校友の皆さんに総会のご案内をしていたのですが、本年は、通信費の増加等の関係もあって、校友会の機関紙であるこの「関大」に掲載してご案内することにしましたので、或は、本年度の総会の日時をご承知にならない方もあるかと存じますが、何卒お誘い合わせの上、多数ご出席下さいますようお願い致します。

各支部の役員の方には、総会開催について色々お世話になっていますが、参加増強方について、なお一層のご配慮をお願い申し上げたいと存じます。

明年は、母校創立九十周年を迎えますので、校友会は、定時総会開催のほかに記念事業として、祝賀会等も特別委員会で、検討中であります。従って本年度の総会はその前年度の総会ですから、特に意義あるものにしたいと思います。

また明年は、役員の改選期に当たりますので、明年の総会においては、代議員の選挙を行うことになります。その意味から、来る本年度の総会は、会員の校友会に対する熱意と、母校愛を示すバロメーターにもなると思われますので校友の皆さんには万障お繰合せの上多数ご出席下さい。

終わりに、本年度総会の開催に当たり、業務多端の中を特に出演下さる八野栄一君及び、母校吹奏楽部の諸君、並びに物心両面にわたりご高配を願いました校友有志の方々に対し、深謝の意を表します。

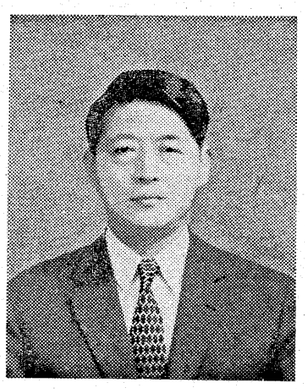
お時間拝借

校友あれこれ対談

最後の陸軍特攻基地「よろづよに」の著者　苗村七郎氏

聞き手　吉田三七雄

—37—



苗村　七郎氏

幻の基地に散った若桜

月に向って出撃直前終戦

吉田　最後の陸軍特攻基地だった九州薩摩半島西南の万世（ばんせい）から、ひそかに飛び立ったまま還ってこなかった特攻隊員の遺書と、貴重な航空戦史をまとめて出版された「よろづよに」が、各方面で大変な話題になっていますね。

苗村　ジャーナリストだった先輩からそんなことをいわれると、なんだかテレ臭いですなあ。放送に引っ張り出されたり、校友会新聞の「関大」に上野勝也さん（昭22大法卒・サンケイ新聞社勤務）が新刊紹介欄で大きく取り上げて下さったり、いろんなところから問い合わせがあったり、わたし自身がビックリしているんです。とりあえず自費出版で二・五〇〇部刷ったんですが、あっという間に、ほとんど無くなってしまい、増刷しようかどうか、いま迷っているところです。

吉田　在学中から航空部主将として活躍され、本州一周飛行をやってのけたり、日本学生航空連盟で学生教官をしていられたことは、あまりにも有名なことだし、昭和十八年繰上げ卒業とともに学鞋として陸軍航空隊に入隊されたことも、当時の新聞紙上で知っていたんですが、その後のことについては知りませんでした。そのあたりの事情を、ちょっとお話願えませんか。

苗村　慰霊碑をこんどの出版について、動機はいったいなんだとよく聞かれるんですが、ハッキリいって、これという理論のいたものは無いんです。敗戦後三十年たったいま、こんなことをいっても分ってもらえないかも知れませんが、いや、分ってもらえないきまっていますが、わたしにとっては、そんなことは、どうだっていいんです。ただ、運命とはいえ、特攻を志願しながら生き残る破目になった自分として、亡き戦友たちの霊をねぎらうことが出来たらと思って、慰霊碑の建立を呼びかけたまでのことですし、また、ご遺族の要望もあったし、亡き戦友たちの純粋な精神を正当に評価しながら、歴史の一齣（ひとこま）として事実を伝えることは、わたしとしては義務だと考えたから、戦況資料と遺書を集めにかかったというだけのことなんです。

吉田　万世基地については、これまでなんの記録も残っていなかったんですってねえ。

苗村　そうなんです。万世は昭和二十年の三月から陸軍特攻基地になっていましたが、敗戦直後、戦隊長が割腹自決したことと、万世飛行場跡に慰霊碑を建て、こんどはその基地から出撃した若桜たちの遺稿集「よろづよに」を出版されたので、ああ、やっぱり苗村クンや、やりよるなあ！と感心してたんです。

苗村　慰霊碑やこんどの出版について、動機はいったいなんだとよく聞かれるんですが、ハッキリいって、これという理論のいたものは無いんです。敗戦後三十年たったいま、こんなことをいっても分ってもらえないかも知れません。世基地から南東二〇キロの知覧（ちらん）に上級指揮所があったので、その知覧のことはよく知られていても、万世基地は全然知られていなかったんです。防衛庁の戦史室にも資料が無かったくらいで、わたしの「よろづよに」を至急送ってほしいといってきました。

吉田　まさに万世は、幻の基地だった理由は、特攻の教官をしていたのと、航空機受領に飛び回っていたため、残されてしまったんです。しかし、ほんとうのところ、敗戦の翌々日八月十七日に、戦隊に仮想解散命令というのが出なかったら、八月十八日か、その翌日の十九日の夜、隼（はやぶさ）にロケット弾を積み込み、月に向って出撃することになっていたんです。

苗村　そういうことです。しかし実際には、わたしが知っている・どんなことなんです？

吉田　月に向って出撃？それは一部の進歩的だと自分で思い込んでいるひとから、キツイ言葉が投げつけられましたが、わたしはただ、遺族を慰め、英霊の顕彰をさせていただくことによって、亡き戦友に代わって親孝行の一端でもしてあげられたらと、その気持だけでした。政治や軍国主義的思想などとは、なんのかかわり合いもありません。そのことだけは、あくまでもハッキリさせておきたいんです。それにしても、資料を集めるだけで丸二年以上かかりました。ものを書くのはズブの素人で、関大同期の菅田定男君（毎日新聞大阪本社論説委員）が励まして呉れなかったら、本は出せなかったかも知れません。

吉田　ほんとに苦労でした。たくさんの遺族の方々も喜んでいられます。どうかこれからもガン張って下さい。

苗村七郎（なえむら・ひちろう）
昭18年大経卒、株式会社民芸園取締役社長、万世特攻慰霊碑奉賛会理事、関西大学航空部OB会副会長。

四団体二氏に感謝状

鶴田浩二君が賛助出演

昭和四十九年度校友会は十月二十日午前十一時半から、大阪・網島の〝大閤園〟を会場に開催される。

昨年度の校友会は、親睦を中心とした総会として最近になく盛り上がり、関係者の好評を博した。本年度はさらに充実した総会となるよう執行部では八月初旬来準備に着手、二回にわたり常議員会を開き検討を重ねてきた。

その結果、今回からは経費節減の意味から往復はがきによる総会案内状の発送を廃止し、本紙による予告（九月号・十月号）と、会員券前売の二本立による動員確保の方針を立て、さきの会員代表者会議をはじめ、支部総会等あらゆる機会を通じて参加要請している。

総会プログラムは別掲のスケジュールで進められ、会長挨拶、会務報告、母校近況報告（明石学長、久井理事長による）のほか、感謝状贈呈などの日程が組まれている。

一方懇親会は、親睦を中心に校友小野栄一君（鶴田浩二）賛助出演現役応援団生徒の特別出演と特賞カラーテレビの当たる福引抽選（景品点数約二百点）など盛り沢山な催しが予定されている。

【感謝状を贈る組織並に功労者】

▽地域支部　岡山支部、福岡支部
▽職域会　神戸市役所関大会、東大阪市役所陵会
▽功労者　片岡恒次郎（関西大学千成会長）木藤安之（関西大学年輪会長）

【鶴田浩二上演曲目】

▽軍歌メドレー十曲　友よ安らかに　暁に祈る　ラバウル海軍航空隊　ラバウル小唄　麦と兵隊　九段の母　ダンチョネ節　あゝ紅の血は燃ゆる　戦友の遺骨を抱いて　同期の桜
▽ヒットメロデー特集六曲　傷だらけの人生　旅姿三人男　日陰者　ハワイの夜　赤と黒のブルス　好きだった
▽その他　道中物メドレー六曲　影を慕いて　酒は涙かため息かなど

新学部長決まる

九月三十日付で任期切れとなった各学部長は、各教授会で選出され、十月一日付で発令された。任期は昭和五十一年九月三十日まで。

学生部長　平井友義教授（法）
教養部長　芝田稔教授（文）
▽平井友義学生部長

法学部長　高島義郎教授
文学部長　薗田香融教授
経済学部長　荒井政治教授
商学部長　東海林滋教授
社会学部長　中農晶三教授
工学部長　杉原清教授

昭24　第六高等学校文科甲類卒
昭28　京都大学法学部卒
昭30　京都大学大学院法学部修士課程修了
昭30～31　同博士課程在学
昭31　法政大学法学部助手
昭34　同大学兼任講師
昭34　国立国会図書館調査員
昭40　関西大学法学部助教授
昭45　同教授
学部学生相談主事　学生主任等歴任

▽芝田　稔教養部長
大正五年一二月一二日生
昭16　北京同文学会語学校卒
昭20　北京大学文学院国文学卒
昭9　満鉄旅順炭鉱入社
昭21　国際新聞編集局入社
昭28　大阪市立大学文学部非常勤講師
昭32　関西大学講師神戸市立外大講師を兼任
昭35　関西大学文学部専任講師
昭38　同大助教授
昭45　同大教授
学部学生相談主事　就職主事等歴任

▽高島義郎法学部長
昭和四年一〇月一七日生
昭28　東北大学法学部卒
昭28　同大学院特別研究生
昭30　同大学第一教養部講師
昭31　関西大学法学部専任講師
昭34　同大助教授
昭41　同大教授
法学部長代理等歴任

▽薗田香融文学部長
昭和四年一月一八日生
昭26　京都大学文学部卒
昭26　同大学院在学
昭28　関西大学文学部助手
昭32　同大学第一教養部講師
昭34　同大助教授
昭40　同大教授
文学部長　文学部長　学長事務代行代理等歴任

▽荒井政治経済学部長
大正二年一月二七日生
昭18　関西大学専門部商業科卒
昭24　同大経済学部卒
昭24～25　関西大学経済学部助手
昭28　同大専任講師
昭30　同大助教授
昭36　同大教授
経済学部長代理　学生部長代理　図書館長　学長代行代理等歴任

▽東海林滋商学部長
大正一三年一月八日生
昭19　神戸高等商船学校卒
昭28　神戸経済大学卒
昭24　海技専門学院（運輸省）助教授
昭27　神戸商船大学助手
昭13　同大助教授
昭44　関西大学商学部教授
学生部長代理　大学院商学研究科長代行等歴任

▽中農晶三社会学部長
大正一四年二月一七日生
昭20　関西大学予科卒
昭23　同大経済学部卒
昭23　新関西新聞学会入社
昭41　萬年社インターナショナル入社　取締役営業部長等歴任
昭46　関西大学社会学部助教授
昭48　同大学教授
広報委員会委員　学生部長代理等歴任

▽杉原清工学部長
大正一一年八月一一日生
昭17　陸軍航空士官学校卒
昭26　大阪大学理学部物理学科卒
昭33　同大学院物理学科修了
昭33　大阪大学物理学教室勤務
昭34　同大助手
昭41　同大助教授
昭42　関西大学工学部教授
大学院委員委員会委嘱　大学院工学研究科長代行等歴任
理学博士

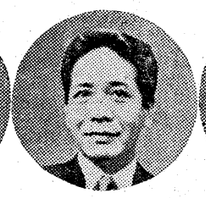
薗田文学部長

高島法学部長

芝田教養部長

平井学生部長

杉原工学部長



中農社会学部長

東海林商学部長

荒井経済学部長

日本経営学会第48回大会

千里山学舎で開く

日本経営学会・第四十八回大会（大会委員長・山口吉兵衛関西大学商学部教授）が、関西大学千里山学舎（経商学舎）において、九月三十日（月）～十月二日（水）まで行われた。

統一論題は「企業の社会的責任と株式会社企業の再検討」で、北は北海道大学、東北大学から、南は福岡大学、北九州大学などの全国各地の大学から経営学の教授が多数参加して開かれた。

総会次第

日時　昭和49年10月20日（日）
午前11時受付
場所　大阪市都島区網島町9番10号
太閤園
当日会費　1人 3,000円

1部 総会		2部 懇親会	
開会	11：30	開宴	12：30
学歌斉唱	11：35	アトラクション	
校友会長挨拶	11：45	演芸	
会務報告	11：50	福引	
母校近況報告	12：10	逍遙歌斉唱	
感謝状贈呈ほか		万才三唱	
閉会	12：30	閉宴	15：30

校友総会の会員券（3,000円）未入手の方で、出席ご希望の方は校友会事務局へ至急お申込み下さい。

教育、文学の二コース

第三回　吹田市民大学教養講座

関西大学が開かれた大学を目ざすとともに、ひろく吹田市民の啓蒙をはかるために、講師派遣などの協力をしてきた「吹田市民大学教養講座」は、毎年さかんになり、第三回目をむかえた。

本年は、「関西大学共催」ということで全面的に参画し、従来の「教育の部」の他に、「文学の部」を新設し、九月九日千里ニュータウンの南センタービルで明石学長も出席して開催された。

講座と講師は次のとおり。

▽教育の部

開設の趣旨＝一般成人を対象に「現代社会における家庭、地域と教育」を主テーマとして、基礎的知識の普及を図る。

現在まで、石島洋介教授、山下栄一助教授、粕谷守孝専任講師、藤井総教授、中島敏助教授、小川正助教授により講座が開催された。あとの予定は次のとおり。

十月十四日（月）Aコース・十六日（水）Bコース「高校進学をめぐる諸問題」海老原治善教授
十月十一日（月）A・二十三日（水）B「生涯教育の問題〝人間としての自己成長〟」宗孝文助教授
十月二十八日（月）A・三十日（水）B「家庭教育における親の役割」A・村尾能成教授、B・西村忠恭教授
十一月五日（火）A・六日（水）B「教育環境としての地域づくり」田中欣和助教授
十一月十一日（月）A・十三日（水）B「差別からの解放を求める教育」鈴木祥蔵教授

Aコースは千里ニュータウンの南センタービルで午前十時から十二時まで、Bコースは、吹田市民会館で午後一時半から三時半まで開催される。

▽文学の部

開設の趣旨＝一般成人を対象に「わが国文学の源流（いとこに女性とのかかわりにおける）を主テーマとして、文学を通して女性の生き方を考える。

現在まで、吉永登教授、清水好子教授、田中裕大阪大学教授、中村幸彦教授により講座が開催された。このあとの予定は次のとおり。

十月十六日（水）「樋口一葉と明治の女性」川口朗大阪大学助教授
十月二十四日（水）「尾崎紅葉の金色夜叉」谷沢永一教授
十一月一日（金）「与謝野晶子と大正の女」小山仁示教授
十一月七日（水）「宮本百合子の文学（〝伸子〟を中心に）」浦西和彦助教授
十一月十三日（水）「文学と女性の生き方」鈴木祥蔵教授

開設場所は千里ニュータウンの南センタービルで午前十時から十二時まで開催される。

行事と集い

- **阿倍野支部総会**　10月19日（土）
  午後6時　阿倍野筋2　広田家
- **昭和49年度校友総会**　10月20日（日）
  午前11時　大阪網島〝大閤園〟
- **伊丹支部総会**　10月27日（日）
  午後2時　阪急伊丹駅前（金陽閣）
- **藤井寺支部総会**　10月27日（日）
  午後1時　藤井寺立市総合市民会館
- **事業部見学会**　11月10日（日）
  午前8時30分　ホテル阪神前集合　室生寺
- **東京支部秋季総会**　11月12日（火）
  午後6時　九段北4—2—25　私学会館
- **大阪倶楽部秋季総会**　11月17日（日）
  午前8時30分　ホテル阪神前集合
  加西市　法華山一乗寺
- **関大法曹会秋季総会**　11月19日（火）
  午後5時30分　新阪急ホテル
- **伊沢会総会**　11月30日（土）
  午後3時　関大会館4階集会室

尊の雫

NHKテレビで勝海舟が見なおされている。冒頭から自賛で申しわけないが、拙宅に海舟の書幅（双聯）がある。前幅には「官兵逼城日、知我唯南洲」と書かれ、後幅には「一朝誤機事、百万化憎鋏」と書されている。これは海舟が、西郷南洲を憶うと題する自作の詩の結句を書したもので、明治十八年の作である▼亡父は、海舟狂といわれる程その人物にほれこんでいたようであるが「不肖の子」の標本のような僕は、恥かしいながらも壷井教授にお見せして読んでもらったことがある▼そのことはそれとして、ここで思い出されるのは、南洲・海舟と並ぶ偉傑として称せられる山岡鉄舟が、侠客清水の次郎長と、始終兄弟のように交際していたことである▼ある日突然次郎長が、鉄舟の家にやってきた。「先生、この間はご書面を有りがとうございました。それについて私は考えました」といって鉄舟の顔を見守った。「何を考えたかな」「いや先生は剣道の達人で、天下の豪傑でいらっしゃるが、先生にもちっとばかりえらくない所がございますね」というと「こいつは面白い。どういうことが気に入らんかな」といわれて▼じゃお許しを得てぶちまけますが、この間のご書面は何が書いてあるのか、私にはちっともわかりませんでした。先生は学問がおありになる。さればといって相手の私にも、先生と同じように学問があると早合点なすっては困ります。この間の手紙は先生とご同格の方へのお手紙で、私のような無筆同様な者に下さる書面ではございませぬ。この見さかいがつかないようじゃ、先生もあんまり偉くないと思いましたんで」と語られ、鉄舟は見事一本参ったと、すっかり兜（かぶと）をぬいだということである▼ここで話は関大学歌の作詞者である服部博士に再転する。この程先生の新著「実際に用いられた式辞と挨拶」（梧桐書院）という本を手にしたのであるが、さすがに詩人であり歌人である先生のご健筆には敬服の至りで、日本現代文化の水準に立つ、わかり易く実用的な名著であると、紹介をおしまないものである。

関大

発行所
関西大学校友会
吹田市山手町3丁目3番35号
発行人　神屋敷民蔵
電話大阪（388）1121代表
振替口座大阪55594番

望遠鏡から顕微鏡まで
光学館
心斎橋店2階に新設
メガネ大学堂

カタノコイ　カタノコラヌ　カタノクズレヌ　カタノ洋服店
最高のおくりもの
カタノ紳士服
片野洋服店
大阪市東区北浜三丁目北浜通
電話大阪（231）〇五六五～七
大阪駅前店　第一生命ビル専門大店
電話　天阪（341）〇七九二
上六近鉄百貨店紳士服サロン　テーラーカタノ

プレゼントのお考えはきまりましたか
ビジネスバッグ・旅行カバン
GIFT　贈答好適
ご一報者にカタログ急送
K.K廣島屋本店
取締役社長　蔵田廣造
（昭和25年　経済学部卒）
〒541　大阪市東区博労町1—26
TEL 06—261—2431
サイフ・ハンドバッグ・カバン専門卸

運転免許は校友がお世話する
〝大阪城東の〟
公安委員会指定
都島自動車教習所
大阪市城東区別所町157
〒536　TEL(06)912—7171
担当　太田清太郎（昭29.学2法）
優待関大証
校友、在学生、又は校友紹介の方は左の優待証を切り取り持参下さい。授業料割引きの特典あり。

●サラリーマンの財産づくりに—
ダイワ　財形信託
●天引きで貯めやすい
●高利回りの信託
●積立金は1,000円から
●優とは別枠で500万まで無税の特典
長い人生——頼りがいある銀行を持つべし。
大和銀行

電子技術で未来をひらく　松下通信工業
安全で快適な生活をになう——！
ナショナル住宅総合インターホン
1台5役の働きもの
ナショナル住宅総合インターホンは、訪問者と通話ができる玄関電話、風呂の水位や温度・漏水を感知する風呂センサ、屋外への非常警報、異常高温や火災を感知する定温式スポット型感知器、窓やドアからの不法侵入者をとらえる防犯・キースイッチなど、近代生活には欠かせない機能を備えています。
●VL-140（主装置・ドアホン子機・風呂センサ）¥44,400
●火災感知器・防犯/キースイッチ・非常押ボタン等は別途ご用意いただきます。（松下電工製）
●お問い合わせは……
ナショナル通信機器（株）
大阪市都島区中野町3-8-14電話352-2171
神戸営業所　神戸市葺合区御幸通2-6　〒651　電話（078）231-6141
松下通信

管工機材　総合問屋
TRADE MARK EVEREST
指定問屋　東洋バルヴ株式会社
指定代理店　株式会社北沢バルブ
代理店　株式会社北斗バルブ製作所
株式会社イズミ製作所
株式会社吉田バルブ製作所
中嶋バルブ工業株式会社
株式会社田渕製作所
佐野鉄工株式会社
特約販売店　アロン化成株式会社
住友金属工業株式会社
日立金属株式会社
アメリカコーラー社
江守バルブ株式会社
専務取締役　江守和一（昭和41学1法）
本社・〒550大阪市西区立売堀北通4丁目51　☎06（532）6321（代）
福岡営業所・〒816福岡市博多区那珂下原656番1　☎092（441）8431（代）
新居浜出張所・〒792愛媛県新居浜市泉宮町3番3号　☎0897（37）0650（代）

北から・南から　各地支部だより

校友会本部と初交流

坂本副会長らを囲んで　二四六会総会開く

関西大学二四六会（代表　郭長城氏）は、九月二十日午後七時から北区〝新北京〟において本年度総会を開催した。

二四六会（にしろくかい）とは戦後の混乱期昭和二十一年四月に入学、二十四年三月専門部卒業、二十六年三月学部卒業の課程を経た同期生会であり、現在いつでも連絡の取り合える者約七十名に及ぶ組織となっている。

校友会本部との連絡は、昨年来であり、総会への出席は今次総会がはじめてで、当日は坂本龍夫副会長、藤本事務局長が出席し、母校ならびに校友会の近況を報告し相互の交流を深めた。

ことに今回は参加者三十名、なかでも新顔六名というかつてない多数の出席者を得、また森正十之幹事のきめの細かい事務連絡に謝意を表する光景が随所に見られた。出席者は次の通り。

赤井英一　阿部幸四郎　今中昭介　奥田勇　小倉康次　郭長城　小林照佳　佐藤万佐次　柴谷寛　滝哲生　高杉昭規　竹田操司　土井仁臣　中村平治　中井敏　永田一　西口照男　宮光重行　花岡恒夫　樋口保治　堀滋　前田昌富　森正十之　山本嘉昭　山岸勉　安田昭二　小田智

校友会本部と初めて交流をもった二四六会総会

渡欧、栄転などの祝賀懇親会

香川支部

香川支部では、昨年夏は母校の後援を得て文化大講演会を開催して好評を博したが、これが成功のかけには、校友の融和協力があったからで、平素から連絡を密にするようつとめている。

今回は、左記の諸氏の歓送や祝賀の会を八月二十日午後六時から高松市中新町「多田荘」で開いた。

○香岡　定行氏（昭19大法）コンピューター研究のため渡欧
○射場　淳氏（昭29学一法）教育視察のため渡欧
○高原　英樹氏（昭30学一法）百十四銀行太田支店長に栄転
○竹森　康彦氏（昭35学一国）厚生大臣表彰受章

当日は、めずらしい顔ぶれや、若い方の出席も多く、なごやかにうちとけた会合で、大へんな盛りあがりを見せ、ゴルフ同好会の発足や、徳島支部との交流をはかることなど、有意義であった。

出席者（順不同）　真砂久二　有岡定行　溝淵良彦　竹森康彦　飯田朗　今沢義信　小田雅亮　佐保山仁美　橋本徳太郎　津森明　高原英樹　芝隆司　池下正孝　野口隆　徳田恒光　今井里美　福田良雄　山田文三郎　藤田修平　森勤　原享司　湊忠男　射場淳　永田周作　森博　植田

渡欧、栄転などの祝賀懇親会を開いた香川支部

十七会総会

53名が再会を喜びあう

九月二十日、それは私達昭和十七年卒業組の戦争による繰上げ卒業日である。例年その日を記念して毎年総会懇親会を開いている。

耕作　池田睦雄　佐々木義治　内海長次郎　（以上）

幹事長も法文、商経と二年毎の回り持ちで当番し、出席者も毎年多くなり、停年退職者もぼつぼつ出る年頃になって来たので、例年何人かは「卒業以来だなー」と三十年来の再会を喜び合う風景もみられるのです。

今年に新しくオール十七年卒業生約四百名の名簿作成配布もあって五十三名の出席者できわい、明石学長、樫本校友会長さんのご出席を賜り、事務局長さんに持参いただいた本年度の校友会総会の会員券十五枚もたちまち会場で売りつくしてしまう程の熱気が感ぜられた。また来年早春三月二十三日（日）、二十四日（月）は、同窓南君が支配人をしている南紀白浜ホテルの「千畳」で家族会を催すことに決定した。（今年三月中沢専務の好意で九州福岡の「博多都ホテル」の家族会は夫人を含めて二十五名の出席）

なお、適令期の子女のある家庭も多いので子供を中心にした園遊会の開催希望もあり、これは幹事会で前向きに検討することとなる等、非常にもりあがりの多い総会であった。

（幹事長・中川藤一）記

十七会総会で久びさに53名が集う

室生寺の秋を探る

見学会ご案内

校友会事業部では、紅葉の秋を迎えて、第五回見学会を開催いたします。

今回は、平安朝前期の遺構や、国宝・重文の仏像の多い女人高野室生寺とその周辺の遺跡を、大和の風土研究に造詣深い大阪体育大学講師金本朝一先生に案内していただくことになりました。

伽藍を彩どる紅葉もまたすばらしいものがあります。

参加ご希望の方は、左記により受付けております。

記

▽とき　11月10日（日）午前8時半、梅田大阪中央郵便局南、ホテル阪神前集合
▽行程　ホテル阪神前（9・00）バス発→大阪松原IC→橿原→大野寺→室生寺（昼食・見学11・30～13・30）→奥香落高原→香落渓→青蓮寺ダム→久弘張→大阪駅西口帰着（18・40）
▽現地案内　大阪体育大学講師金本朝一先生
▽会費　一、五〇〇円（昼食代を含む）
▽申込方法　十月三十日必着にて住所氏名を明記の上、会費を添え、関大学校友会事務局までお申込み下さい。（先着六十五名まで）

校友市長は語る　—6—

岸和田市長　原　昇

わが岸和田市は、大阪府の南部（大阪市の南西二十五㌔㍍）に位置し、西北は大阪湾を望み対岸には淡路島を眺め、東南に和泉・葛城連峰を以て和歌山県に境している。

大正十一年十一月一日、全国で八十七番目に市制施行された当市は、面積六九・九六平方㌔㍍、人口約十七万五千人をようしていますが、本市を南北に貫通する国道二十六号線は大阪府と和歌山県の中枢を結ぶ主要幹線であり、これに並行して南海本線と国鉄阪和線がとおり、各種産業の立地条件に適し、市民の〝あし〟にとっても極めて至便であります。

市内には今から六三〇年前築城され、八陣の庭で知られる岸和田城、紅葉で名高い牛滝山弘法大師によってつくられたという周囲四㌔㍍に及ぶ久米田池などがあり、また、毎年九月十四、十五日には今から二百六十余年前の元録十六年頃からはじまったと伝えられる岸和田地車祭（ダンジリ祭）が花々しく挙行されます。

この祭りは昔から荒っぽく、死傷者が続出して、「喧嘩まつり」と、うれしくない名で呼ばれていましたが、近年、関係者の懸命な努力によって、豪壮、優美な祭礼として全国に知られるようになり、本年も三十台余の地車が引き出され、延百万人の見物客で賑いました。校友各位にもぜひご覧いただきたいものです。

また、本市の主要な産業としては従来から繊維工業が盛んであり、現在においても市内産業の五十七％を占めています。しかし、近年臨海地区の開発及び港湾の整備により、鉄鋼、石油木材工業へ目ざましい変貌を遂げつつあります。農業では、みかん、玉ねぎの栽培、海のさちとしては、かたくちいわし、このしろ、もがい等が水揚げされています。

民主市政に〝初心生涯〟

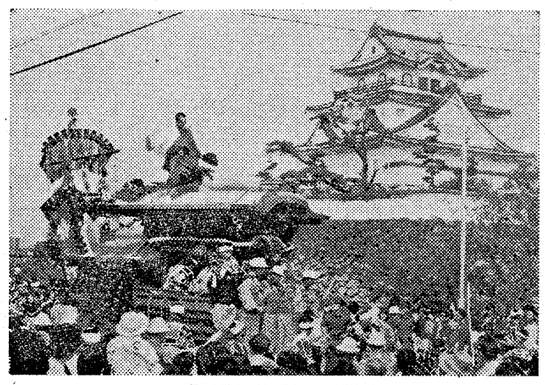
—対話で福祉、教育を推進—

さて、私は大戦中、陸軍航空士官として世界の空をかけめぐり、その間、幾度となく生死の境をさまよいましたが、九死に一生を得て復員後、生まれ、育った故郷の土をこよなく愛し、土に親しむ生活に入りました。

しかし、打ち寄せるインフレ物価暴騰による経済混乱によって国民生活が大きな脅威にさらされるにつけ、向学の念にかられ、昭和二十九年四月より本学経済学部二部に籍を置くようになりました。また、同年、岸和田福祉事務所に奉職し、以後青少年課長、職員課長、総務部長を経て、昭和四十八年十一月福祉行政の推進、教育行政の拡充、市民との対話の行政を三本柱として、清潔で心と心がふれあう市民本位の明るい、住みよい、豊かな街づくりを訴えて市長に立候補いたしましたが、市民多数の温い支援と校友各位の献身的な援助により、同年十二月十五日市長に就任いたしました。

今日のわが国経済の混乱は目をおおうばかりであり、インフレ、狂乱物価の大波が、続々と押し寄せ、今や市民生活は大きな危機にさらされ、その不安はつのるばかりであります。このような難問山積の時期にあって私は初心生涯を座右の銘として市民のいのちとくらしを守り、市民の願いが実現する民主的な市政の推進に全力を傾注しているところであります。

今後とも、関大校友のあたたかいご支援とご鞭撻を、さらに忌憚のないご高見を賜わらんことをお願い致します。



岸和田名物のダンジリ祭り

ファミリー関大　—5—

啓明「ファミリー関大」を長らく中断していたことは申し訳ない。多くの校友から、ご兄弟姉妹とか父娘さん、ご夫婦などなど、多彩な情報を戴きながら取材を見合わせてきたのは、学園は来年は九十年！なんとか、ここらで〝三三代〟の発掘を得る。幸甚の極みである。なお、これまでにご頂戴した材料は整理検討し、陸続と掲載、生きた生活の中から〝関大像〟というか〝伝統関大〟の思索していきたい——（U生）。

中巻　弘氏一家

中巻　弘　大5関甲（一期生）兵庫日産自動車KK代表取締役
弘之　昭17年二予科19年9月経商・経済学科卒　神戸日産モータースKK専務取締役
広介　昭43関大一高47工学・管理工学科卒　柳沢製作所技術部検査係

素朴でのびのび

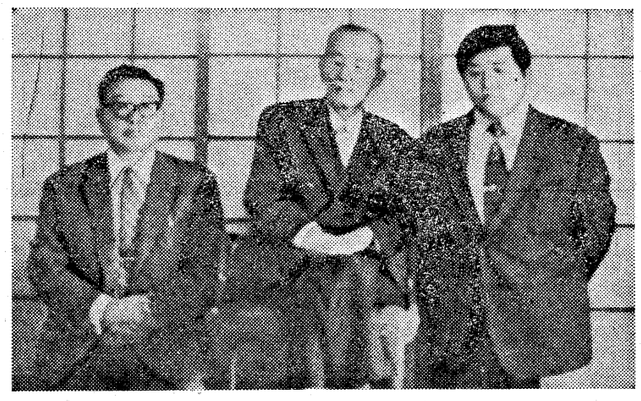
親、子、孫の三代が学ぶ

中巻　弘　私は大正五年、同窓三人とともに福島区浄正橋にあった関西甲種商業学校の第一期卒業生で代〟の対象をと欲を出したためである。このたび校友会参与関大一校名誉校長の三島律夫先生（関甲大正八年卒、大正十一年専商）のすぐれたご記憶力と慈愛に満ちたご尽力によって〝中巻家三三代〟の発掘を得る。幸甚の極み

はあるが、そのあと友人と二人、神戸高商＝現神戸大＝に進んだので、関大の〝大先輩〟といわれるようもはゆいが…。

三島先生　イヤ、校友会はオール関大で親睦と母校の発展を祈念して道を継承したものですョ。

弘　関大は素朴な、のびのびとした、よい学園だ。一人息子の弘之も旧制神戸一中卒だが、関大予科から経済学科へ。孫は男と女の子が一人ずつだったが、男子の広介も関甲の後身である関大一高（昭24年から）に入れ、工学部に進学させたんだ。



（左から）中巻弘之・弘・広介の三氏

巻さんが神戸高商に進まれたことは、その後も母校の誇りであり、以後、例年、一人か二人、先輩の

ボートで日本横断航行　探検部の報告

富士川から信濃川へ

四県四九二キロに挑戦

過去十年間、日本の幾多の激流を下り、一昨年、アメリカ合衆国コロラド河激流航行に成功した我々は、今年も大きな夢を抱いて、ボートを使って日本を横断しようと計画した。

この計画は富士川をファルトボート（カヌー一人乗り）で逆上り甲武信岳（標高二四八三㍍）を越え、日本一長い信濃川を通る、太平洋から日本海に通り抜けるという全長約五百㌔㍍にも及ぶ計画である。

七名の隊員で組織し、ゴムボート二隻、ファルトボート二隻、キャンプ道具その他を携帯して七月二十日大阪を出発した。

最上川、球磨川と並ぶ日本三大急流のひとつ富士川は、六月上旬の偵察とはまったく違い、梅雨のため水量が増し、はたしてボートで、逆上ることができるか、はやくも不安が全員の頭をかすめた。

我々は、航行準備を完了し、いよいよ航行開始である。二隻のファルトボートに二人、荷物をかつぐサポート隊五人とに分け、二時間交替のローテーションを組み、富士川を上り始めた。

水量が多いため流れが速く、必死でパドル（カイ）を操るが、ボートは、なかなか進まない。パドルを握る手が棒のようだ。また流れの速い瀬や、岩が突き出してどうしても上れないところは、ボートにザイルをつけて川の中を引っぱって歩かねばならない。

このようにして、我々は少しでも上流に上ることに全身全霊を打ち込んだが、時速一㌔㍍に満たないロースピードで一日十㌔㍍前後しか進まなかった。

富士川河口（静岡県）を出発してから九日目、やっとのことで、富士川を上り切ることができた。この間、山形県下に、大雨注意報が発令されるくらいの集中豪雨に出会い、やむなくボートをたんで川そいの道を歩いたこともあった。

富士川を上り切ると、今度は甲武信岳の山越えに入った。ボートやその他の装備をバッキングして、一人約三十五㌔㍍の荷物を背負って、一人約三十五㌔㍍の荷物を背負ってのボッカ（荷物運搬）は大変である。甲武信岳東沢は中級程度であるが、荷物が重く、かさもあるので、少しでも手や足を滑らせると大事故につながる危険性をはらんでいるため、我々は必要以上に注意を払って、ザイルを使いながら一歩一歩進んでいった。

甲武信岳山頂から日本海へ

八月三日、甲武信岳山頂に到着した。山頂から雄大な山々を眺めてひと安心するが、我々にはまだ信濃川三百六十㌔㍍の川下りが残っている。

八月五日、千曲川上流居倉から二台のゴムボートに装備を積み込み、いよいよ信濃川下りの始まりである。

富士川とはまったく違い、どうにかゴムボートが下れる水量しかなく、浅瀬が多いため、ゴムボートを持ち上げたり引っぱったりと全員悪戦苦闘の連続であった。

信濃川に入ると快適に下れると思っていたのが、毎日、川との戦いが続き、全員疲れが著しく現われはじめた。夕食をとるとすぐ睡眠に入り体がだるくて朝起きるのがおっくうであった。

八月九日、小諸市を通過。この付近から川幅が広く水量も豊かになりはじめ、やっと快適な川下りができるようになった。こうなると、我々には慣れたもので、大きな瀬でもゆうゆう下れ、今までのように疲れが一瞬のうちに吹き飛んでしまうくらいである。

八月十一日、日本アルプスから流れてくる犀川と合流する。時速六㌔㍍にも及ぶ快適な舟旅である。

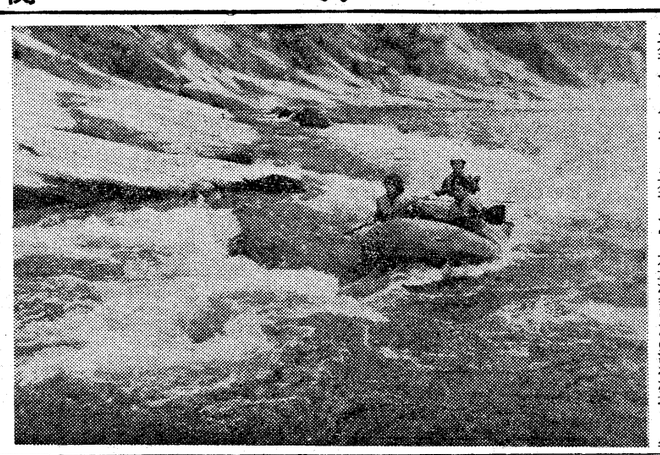
八月十三日、日本横断最後の県新潟県に入る。

八月十七日、長岡市通過。河口に近づいたせいか流れがゆるくなる。空は快晴、最後の力をふりしぼって全員一生懸命オールをこぐ。一日約三十㌔㍍前後進んで川岸にテントを設営し、キャンプをするのであるが、長野県、新潟県に入ると、素朴というか人情が厚いというか、民家から毎日のように野菜をもらったり、ときには風呂に入れてもらったりといろいろ親切にしてもらった。

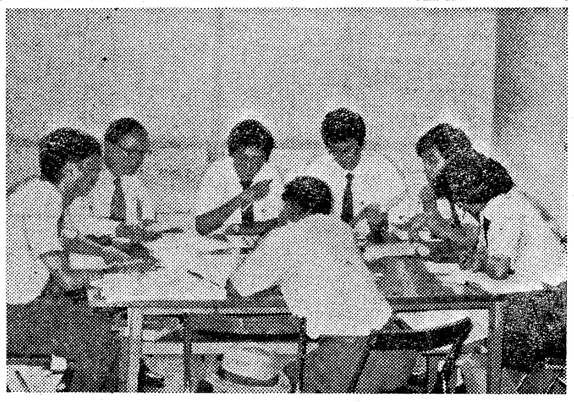
八月十九日、十二時十五分、我々は富士川を出発して以来三十一日目にしてやっと最終目的地点、信濃川河口に全員無事到着することができた。静岡、山梨、長野、新潟の四県にまたがる四九二㌔㍍に及ぶ日本横断航行の幕がおろされた。

この合宿により我々は自然の雄大さ、美しさを感じるとともに、人間の力の大きさを肌で感じることができた。幾度か挫折しかけたこともあったが、今まで磨いてきた技術と精神力をもって、この計画を成しとげた。この計画に我々七名は全情熱を傾けたといっても言いすぎではないだろう。

（商三・吉野福男）



信濃川を下るゴムボート



明石学長（左から2人目）の指導で相談に当たる学生

公害問題にも取組む

山陰三市で夏期移動法律相談

我が関西大学法律相談所では、今年も、恒例の夏期移動法律相談を行いました。これは夏期休暇を利用し、日頃の研究会活動における学習成果の社会的還元を目標として行うもので、天穴における定期法律相談とともに、我がクラブのモットーである〝理論と実践〟。

本年度は、島根県の松江、出雲、鳥取県の米子の三市において、八月十九日、二十日、二十一日の三日間にわたり、各市当局のご援助を受けて、第十六回夏期移動法律相談所を開設しました。

今回の移動相談には、本学法学部から、関西大学法律相談所所長である沢井裕教授をはじめ、明石三郎学長、岩本慧教授、岩崎憲次助教授、高森八四郎専任講師、千藤洋三助手といった諸先生方が、また先輩として、吉野和昭弁護士、大岸嘉昭、下瀬豊晴諸君の参加があり、その後補充した馬匹が伝染病にかかり全部廃馬ということもありました。しかし近年諸先輩、現役の努力により、関西はもちろん、全国に我が馬術部の名を知られるに至りました。

だが最近馬匹の老化が著しく、新馬を早急に見つけ出さねば、二―三年後の試合はもちろん、練習にもさしつかえる状態となってきています。また、最近の物価上昇のあおりは、我が馬術部にも、ともに突きささってきています。

各種馬料代の二倍から四倍の値上がり、試合ごとの馬匹運送費の値上がり、医薬品の値上がりなどなど。またせっかく良い新馬を乗れけても金銭的な面で諦めねばならない状態です。以前から続けてやっている、アルバイトだけでは、今日の物価上昇には太刀打ちできず、しかたなく馬匹の数を減らさねばなりません。

このような状態のもとで、昨年は春季全関西学生馬術大会選抜中障害で優勝、今年は秋季全関西学生馬術大会総合競技で団体三位、女子選手権大会で優勝しています。現在部員16名、内女子4名で諸先輩方のお力ぞえのもとに毎日練習をかさねてがんばっています。

主将　仲野陽一（社四）
主務　花木敏郎（社二）

喫茶　ヘカ
地下鉄東梅田・日興ビルB1　☎313―6774

建設に生きる
大林組

関大を彩る人々

題字は明石三郎学長

―8―

松尾高一（上）

文学部教授　横田健一

38歳で本学卒業

松尾高一は明治二十一年七月五日、岡山県英田郡粟井村（現作東町）大字小房五九五番地で、父勇四郎、母イトの四男に生まれた。

彼は晩学の人であって、関西大学専門部経済学科に入学したのは大正十三年、三十五歳のときで、昭和二年三月の卒業当時には三十八歳になっていた。

彼は、日本の信用金庫の中でも最も古い歴史を有し、かつ第一流の優秀な業績をあげてきた尼崎信用金庫の創設者であり、かつ五十二年間にわたる経営者である。とくに昭和十九年から四十八年に亡くなるまで、実に足かけ三十年間理事長として、抜群の経営の実をあげ、全国の金融界にその人ありと知られたほか、尼崎市の発展に各方面にわたって尽力し、昭和四十三年には尼崎市で最初の名誉市民の称号を受けた人であった。

彼の生涯を語ることは、尼崎市そのものの発展を語ることになるくらい、彼の一生は尼崎市に密接な関係をもつ。それでは尼崎信用金庫はどのようにして作られたか。

壮年時代の松尾氏

尼崎信用金庫の前身、尼崎信用組合は、彼と中江済の二人が大正十年二月中旬に設立を企画した。中江は彼と同郷、岡山県津山市の出身で四十歳、大阪市米穀同業組合の書記長をしていた。

松尾は三十二歳で、尼崎の日本木管株式会社（のち大日本木管と改称）につとめていた。日本木管の社長、上田弥兵衛は大阪米穀取引所理事（のち東京米穀取引所理事長、衆議院議員）で大阪米穀同業組合の組合長だったので、彼を介して松尾と中江は知り合った。

大正十年といえば、第一次世界大戦が、大正七年十一月に終わり戦後の不況が九年ごろから、次第に深刻化しつつあった頃である。戦争中に拡大した各種産業は、バッタリと受注がなくなり、生産を縮小し、失業者は増加した。

今でこそ尼崎は大企業の多い重化学工業都市であるが、当時は大企業は少なく中小企業の町であった。中小企業の経営者たちは不況にのぞんで、資金繰りに困っていた。雇傭の減少は次表の通り。

尼崎市　（工場）（労働者）

八年末	八二	八、六一〇
九年末	六八	八、一五四
八年末	一一	五、三八五
九年末	一一	四、九九九

金融機関として都市銀行には尼崎銀行、加島銀行、三十四銀行などが、明治中期以来あいついで尼崎に進出した。しかし、これらは大企業と結びついても、中小企業への融資には熱意を持たない。たとえば大正九年の恐慌時に、加島銀行は預金高約一千万円で、尼崎市中の預金の七一％を占めていた。しかるに貸出高はわずか四百万円に過ぎなかった。

尼崎市民の預金を多分に吸い上げながら、市民に還流しないので、地元有力者を説得し、組合役員として参加させるべく努力した。

その有力者の筆頭は小森純一、貞治郎父子である。小森純一は明治十四年マッチ製造業を起こし、小田村八年末　一一　五、三八五
九年末　一一　四、九九九

尼崎最初の名誉市民

一生を中小企業金融に

中江は遠信有につとめた経験をもち、のちに働きながら勉強して弁護士になり、尼崎市会副議長になったほどの努力家であり、法規にくわしい。中江は信用組合設立の目論見書、定款、規約などの作成、創立届出の手続きその他法律関係を担当した。松尾はもっぱら地元有力者を説得し、組合役員として参加させるべく努力した。

その有力者の筆頭は小森純一、貞治郎父子である。小森純一は明治十四年マッチ製造業を起こし、尼崎ではかえってマイナスの役割を演じていた。当然、尼崎の中小企業は、他に資金繰りの壺を見つけねばならない。ここに彼らが盛んに利用したのが頼母子講であり、質屋であり、高利貸であった。

松尾と中江はこの現象に眼をつけた。尼崎の庶民たちは、低利で気軽に融資をしてくれる金融機関を切実に求めていることを痛感した。そして彼らの上司、上田弥兵衛が大阪で信用組合をやっていることにヒントを得た。

中江は遠信有につとめた経験をもち、のちに働きながら勉強して弁護士になり、尼崎市会副議長になったほどの努力家であり、法規にくわしい。中江は信用組合設立の目論見書、定款、規約などの作成、創立届出の手続きその他法律関係を担当した。松尾はもっぱら地元有力者を説得し、組合役員として参加させるべく努力した。

その有力者の筆頭は小森純一、貞治郎父子である。小森純一は明治十四年マッチ製造業を起こし、資産家として名あり、明治二十九年尼崎町長、大正五年第二回市会に議長となり、また尼崎伝道教会を設立したクリスチャンとして徳望があった。時に七十四歳。この小森の引き出し、説得は難航をきわめた。松尾は無名の若輩で信用してもらえる状態ではなかった。この時、松尾の保証人として、強力な支持者があらわれた。

関一が保証人に

その人こそ誰あろう、後に大阪市史上きっての名市長とうたわれた法学博士関一（せきはじめ）である。関は当時助役であった。松尾がはじめて郷里を出て、尼崎に来たのは大正初年、二十四―五歳のころであった。

彼はそのころ関一の紹介で一尾を訪ねた。関は当時助役であった。関は松尾の人物を見込んで、彼の部下として、大阪市秘書課に呼びもどそうとの意向をもっていたが、松尾が信用組合の設立に熱意を燃やしていることを知り、松尾の事業支持を約した。そして桜井忠剛尼崎市長に対して松尾支援を乞い、自分が信用組合設立の保証人に進んでなった。

関という大阪では第一等の人物の保証を得て、松尾の設立事業は爾来、順調に軌道にのった。彼の東奔西走は実を結び、小森父子をはじめ尼崎の一流人士が理事、監事に就任した。もっとも関より前に、同郷で小学校同級の友人、内藤栄太郎医博の支援があり、内藤の知人で、同じく岡山県出身の東大教授、本位田祥男経済学博士の賛同、アドバイスなどがあった。

無給で預金集め

かくて大正十年五月五日尼崎信用組合は設立認可を有吉忠一兵庫県知事より与えられ、六月六日開業、スタートを切った。組合長は小森純一、専務理事に中江済が就任した。松尾は自己の名誉のためにもって理事就任を辞退し、主事となった。

設立から数カ月の間、保守的な尼崎の人たちは、信用組合の性格を理解せず、なかなか会員として加入しようとしなかったので、松尾や中江は、勧誘に奔走しなければならなかった。そして、発足当初は、尼崎市別所村八二〇番地の組合長の持家を無賃で借用していたし、中江も松尾も、事業の見おしのつくまでは無給ではたらくことを申し合わせ、それが数カ月もつづいたのである。

こうした悲壮ともいうべき無給状態で、連日自転車で走り回り預金あつめの遮二無二の努力が、次第にみとめられた。大正十年末と十一年末とを比較すると業績の伸びは次のようである。

	十年末	十一年末
組合員	四二名	六三名
出資口数	七七三口	二、〇四二口
出資金	三、三〇〇円	一、六四四円
預金額	一、三三円	三一、二六四円
貸出額	九、七四四円	三一、〇六六円

松尾は大正十一年一月二十七日に開かれた第一回通常総会で、その努力と業績をかがめられた理事に選ばれ、常務理事に就任した。その後、尼信の発展は着々とのびた。

昭和二年三月、渡辺銀行の破綻ついで、四月に鈴木商店の倒産、台湾銀行の休業、十五銀行の閉鎖とつづく金融恐慌は、ひろく銀行の取りつけ騒ぎを引きおこし、日本の経済界に大打撃をあたえた。

この時、尼信でも取り付けにそなえて二〇万円を県信用連合会から借入れて備え、さらに三十四銀行に三〇万円借入れを申し込んだが、同行は和歌山支店の取りつけ騒ぎで応ずる余力なしと断われる有様で、尼信幹部たちはヒヤヒヤしていた。しかしカウンターに札束を積んで待っていたが、誰一人として取りに来なかった。尼信に対する恐慌時に面目を施したのであった。創立後、はじめてブツかった危機はかくして乗り切られた。

体育会各部の現状と指標（7）

今年秋には一部復帰を

ゴルフ部

我が部は創立二十六年という関西でも唯一の古い歴史をもつクラブです。創立以来一部校として、がんばってきましたが、一昨年残念ながら二部リーグ転落というふがいない成績におわってしまいました。

しかし、部員全員一部リーグ復帰をめざして、練習に励み、今年春の二部校リーグ戦では4勝1引き分けで、優勝することができ、全部員が一つになって京都産業大学との入れ替え戦にのぞみましたが、運悪く6ポイント対6ポイントで引き分けにおわってしまい、もう一歩のところで一部復帰のチャンスをのがしてしまいました。しかしこれくらいでくじけることなく秋のリーグ戦をめざして、練習に励んでいます。

個人戦においては、新人戦優勝、文部大臣杯出場、舎日本朝日杯出場など、その他数多くの個人戦にかがやかしい成績を残しております。

部員確保については、他部のような部員不足という悩みはまったくなく、近頃のゴルフブームもとともなって、今年も12名という多くの新人生が入部し、我々幹部も大きな期待をかけています。

最後に、今年秋にはかならず我がゴルフ部の一部に復帰を約束したいと思います。

主将　菊地秀隆（電子四）
主務　井村将治（社四）
部員　男子32名女子1名

部員増はかり一部復帰を

水上競技部

水上競技部における四十九年度の戦績は、我がクラブにとって一番大切な試合である第四七回関西学生選手権水上競技大会において一部リーグ六位、すなわち二部リーグへ転落という恥かしい結果に終わってしまった。今まで諸先輩達が守り続けてきた二部リーグという伝統を守りきることが出来ず、創立以来始めての二部リーグ転落は、先輩に申し訳ないという気持ちと同時に部員一同本当に口惜しかった。

現在、我が水上競技部は部員数が、それと並行に、親族、相続関係の問題がたくさんありました。これは、昨年の移動相談と同様の傾向を示していますが、やはり観光都市であり、農村地帯をかなり広い部分が含む地域の特色が在まで勝ち残っています。正直な話、このままの状態では二部落ちも時間の問題と言わざるを得ません、毎年〝今年こそは上位入賞を〟と、練習に励んでいますが選手の質の低下、練習条件の悪化、また他大学の戦力補強等により、満足のいく成果を上げることが出来ず誠に残念です。過去のサッカー部が築いた伝統をかえりみて現実は本当に寂しく、また先輩方には恥しい限りです。しかし、過去の栄光や伝統に目をむけすぎて、現状の打開に力を注ぐのを怠っていたのでしょうか。今我々に必要なのはこれからの勝利です。これを得ることによって、関大の伝統は受け継がれてゆくのだと思います。現状の戦力をいかにアップするかたったの十名、そのうち試合に参加して泳ぐ者は、わずか七名という実に零細なクラブである。他のクラブと同様、年々入部希望者減るという状態におかれているので、やはりクラブ本来の活動が思うように出来ず、その点で気の抜けた所があったように思われます。

水泳というスポーツは、自己との戦いであると同時に孤独な競技でもあります。そして必ず体調の良い時と悪い時がやって来るので、試合にベストの体調で参加するのはなかなか難かしいことです。そこでこのような状態を打破するため、来年こそは、まず第一に部員の人数を増やし、全員が一致団結し、初心に帰って練習に励み、再び一部リーグへ帰り咲こうと、一同心に決めています。

主将　秋山隆英（社四）
主務　山下一（商三）

勝利のための練習のみ

サッカー部

サッカー部は幸いなことにまだ二部リーグに所属しておりますが、過去三年間連続して入れ替え戦を経験しており、幸運にも現在まで勝ち残っています。正直な話、このままの状態では二部落ちも時間の問題と言わざるを得ません、毎年〝今年こそは上位入賞を〟と、練習に励んでいますが選手の質の低下、練習条件の悪化、また他大学の戦力補強等により、満足のいく成果を上げることが出来ず誠に残念です。過去のサッカー部が築いた伝統をかえりみて現実は本当に寂しく、また先輩方には恥しい限りです。しかし、過去の栄光や伝統に目をむけすぎて、現状の打開に力を注ぐのを怠っていたのでしょうか。今我々に必要なのはこれからの勝利です。これを得ることによって、関大の伝統は受け継がれてゆくのだと思います。現状の戦力をいかにアップするか、どのようにしたら試合に勝つことが出来るか、このことを頭に入れて一生懸命、それこそ死にもの狂いで練習すればきっとよい結果は得られるはずです。これらのことを反省してサッカー部は、一部優勝を目指して、今まで以上に練習に励みたいと思います。

主将　牧野浩一（法四）
主務　遠藤竜治（法四）
部員十九名

悪条件克服し伝統守る

馬術部

大正十三年に我が関西大学馬術部が創設されました。四十年以上の歴史を持つ我が部には、幾多の優秀選手を擁しオリンピック選手を出すという黄金期あり、戦中、戦後にかけて馬匹無しという危機あり、その後補充した馬匹が伝染病にかかり全部廃馬ということもありました。しかし近年諸先輩、現役の努力により、関西はもちろん、全国に我が馬術部の名を知られるに至りました。

だが最近馬匹の老化が著しく、新馬を早急に見つけ出さねば、二―三年後の試合はもちろん、練習にもさしつかえる状態となってきています。また、最近の物価上昇のあおりは、我が馬術部にも、ともに突きささってきています。

ジレンマの中での練習

ラグビー部

スクラムの辛さ、ランパスの辛さは、誰にもわからない、それをしている自分自身しかわからない。やってみて始めてその辛さがわかるのであるが、それと同時に、何故、そのような単調な練習を、毎日繰り返し、しているのだろうか。それは〝勝つ〟ためのものでしかないのである。〝勝つ〟その瞬間の喜びを味わいたいためにするのである。これが、我が指標といえるものです。我が部には、きらびやかな修飾語は不必要です。

現状は、と聞かれれば、他部の例に漏れず、部員が少なく、有名校からの新人が入部しないという、昔に比べると、そこに大きなギャップがあります。しかし、練習方法を変化することにより、例えば、練習前から、楕円形のボールに慣れるようにするなど、単調な練習の中に楽しさをみつけ、チームワークを強化していきたいと思います。関大の体育不振は、他人事でないことは百も承知ですが、どうすることもできないことが現実に存在する以上、ジレンマに立たされているのが現状であると感じとれます。

主将　奥幹夫（二商四）
主務　岩崎正宏（経三）

【訂正】前号の原田鹿太郎伝の中で、山崎教義とあるのは、山崎敬義の誤植であり、訂正しおわびいたします。

編集部

工業英語研究会

わが国唯一　工学部最大の同好会

TESAとは、Technical English Studying Association の略号です。この研究会は、外国の文献及び資料などをいち早く読み、またその内容を敏速正確に把握することを目的として約十年の歴史を有しております。この種の研究会は、日本国内では本会が唯一のもので、練習の内容は次の通りです。

昼の休み時間を利用しての練習は、週四日間を工業英語にあて、中でも前半の二日で洋書の訳及び知識の吸収、後半二日で基礎的な文の訳し方を学びます。一週間の残る二日は英会話の勉強をします。これらの練習は、毎日一時間程度ですが、この他に年三回の合宿や五回のDiscussionの機会を設けて、熱心な活動を続けています。

このようにESSとはかなり練習内容の異なる本会ですが、年間で最大の行事がTESA祭です。ここではプレゼンテーションというわがクラブ独自の方法で、聞き手と話し手の相互理解を深めながら、一年間に吸収した知識をすべて英語で説明しております。年に一度、日本人教授、外人教授及び大学院生をお招きし、多数の学生参加の中、難かしい内容を図式を巧みに使って行われるこのプレゼンテーションは、クラブの最も楽しい、最も収穫のある行事なのです。今年は、エネルギーを年間のテーマとして捉え、あらゆる角度から将来の展望も含めて発表する予定です。

また本会は、その独特な研究で知られる福島達教授を顧問として仰ぎ、先生の先見豊かな発想は常に部員に新しい息吹きを吹き込んでいます。この他、一つのクラブとして、院生と学生との交流や、合同ハイキング、コンパ、ダンスパーティーを通じて人間のふれあいも絶えず深め、工学部最大の同好会として邁進しています。最後に会員の紹介をしておきます。

会長、別所豊（電子工学科三回生）、副会長、片山辰雄（土木工学科三回生）、運営部長、杉浦未弘（機械工学科三回生）、総務部長、小笠原忠彦（機械工学科三回生）、財務部長、寒谷功（機械第二工学科三回生）、渉外部長、川村文保（管理工学科三回生）、SESAF、宮田一夫（金属工学科三回生）

新刊紹介

ヤノマムたち

関西大学アマゾナス踏査隊

最近、とみに学生、青年による探検・冒険活動が盛んになってきているが、関西大学探検部によって行われたアマゾン・ヤノマム族踏査は学生探検における最高のものとして広く社会に認められている。この活動は、機関紙「関大」第二〇七号（昭48・10・15）にわたって報告されたが、このほどその活動の全容が「ヤノマムたち」という本になって出版された。

関大探検部は学生探検の先駆者として昭和31年に、京大、大阪市大に続いて創立されて以来、幾多のフィールドにおいて活躍し今や実力№1の地位にある。このアマゾナス踏査隊においても日本はもちろん世界に先がけてアマゾナス地方の未開部分を一大学探検部として踏査した初めてのもので、その調査報告は学会で高く評価されている。

内容は三章に分けて書かれており、一章は「しゃかいの文化」と題して、親族、婚姻、人の一生、宗教、法と政治、経済。二章は「ぎじゅつの文化」で漁撈、農耕、食、住、衣、民具に関して。三章は「しんぼるの文化」で歌とダンス、知識と観念、言語に関して書かれてあり、全般にわたって詳細で、またウイットに富んだ文章は読む者を楽しくさせてくれる。

また写真も貴重なものをふんだに使い、一見してインディオの生活・風俗がわかることはうれしいものである。

（B5―五七㌻・著者・編集・発行、関西大学アマゾナス踏査隊・関西大学探検部）

なお、ご希望の方は実費一五〇〇円（郵送料込み）でおわけいたします。限定出版のため数に制限があります。連絡は「吹田市千里山・関西大学探検部」まで。現金書留でお願いします。

スチールトピア
パイプが築く　平和と豊かさ
MKK　鉄で夢をつくる――
丸一鋼管

品質に生きる住江カーペット
住江織物株式会社
本社　大阪市南区安堂寺橋通4丁目55番地　電話　251―0081（大代表）
大阪支店　大阪市南区安堂寺橋通4丁目55番地
東京支店　東京都港区西新橋3丁目23番1号　電話　433―4171（大代表）
工場　奈良・河内・京都・網野
営業所　札幌・仙台・金沢・名古屋・岡山・広島・福岡

コンピュータ時代をリードする
印刷の東洋紙業　取締役社長　朝日多光
本社　芦原工場　大阪市浪速区芦原2丁目3　TEL(06)562-0051

最高の印刷技術と総合企画　●平野工場　●東京支社　●横浜工場
東洋紙業株式会社　TEL(06)791-3435・TEL(03)474-3251・TEL(0462)63-3275

写真業界と共に発展する！
〈野心家企業〉
それがエフシーです。
求む！
野人
創業45年　写真仕上用品のトップメーカー
(株)エフシー製作所
社長　茶谷薫重（大正四年　専商卒）
大阪市北区浜崎町28　☎(371)4531

校歌・応援歌　今と昔

序誦

静かに去り行く春（夏・秋・冬）の日に、契りし夢も永遠に、とこ千里山上（地名）に花と咲く。
帰えらぬ情に駒止どめ、しばしの憩い、供にせん。
さればいざ歌わんかな、舞わんかな、我等が関西大学逍遥の歌、一番、二番、三番…。

大学諸歌を唱うとき、即興的に人々に唱和を呼びかけるための前口上であるといわれる。
この他類似のものが多くあり、歴史的にも古くから先輩より語り伝えられている。

逍遙歌

一、嵐劈く鳳の
　翼休めし自治の山
　緑の香いと高き
　千里が丘の春雨に
　我等二八の夢に酔う

二、金蘭の花散りて無し
　千里が丘に月落ちぬ
　眺むる彼方白明に
　かりがね高く鳴きてとぶ
　嗚呼青春の若き夢

三、浪華の都に華と咲く
　名も千陵の丈夫が
　葦の葉繁れる淀川に
　暫し咲きけん自治の花
　自由の曲ぞ今誦しぬ

関西大学学歌

服部嘉香 作詞
山田耕筰 作曲

一、自然の秀麗　人の親和
　たぐいなき　此の学園
　我等立つ　人生の曙に
　燦たる理想　仰ぎつつ
　学ぶは一途　純正の
　若き心に　讃えなん
　関西大学　関西大学
　関西大学　長き歴史

二、真理の討究　学の実化
　たぐいなき　此の学園
　我等有つ　潑剌の精神に
　栄ある文化　創るべく
　励むは一途　研鑽の
　日々を楽しみ　忘れまじ
　関西大学　関西大学
　関西大学　重き使命

三、自由の尊重　自治の訓練
　たぐいなき　此の学園
　我等期す　人格の向上に
　正義の奉仕　世に為すと
　希うは一途　先進の
　歩みさだかに　伝えばや
　関西大学　関西大学
　関西大学　高き権威

学生歌

浪江源治 作詞
中村良之助 作曲

一、御空に輝くりょう爛の
　北斗の星にあこがれつ
　久遠の理想を高く求め
　辿る天路の草枕
　行く若人の仮ねにも
　まどろむ夢の清きかな

二、紺碧深き海洋の
　底ひ知れず秘められし
　幾層の宝捜すべく
　腕くろがねの丈夫が
　丈余の櫓櫂を舵とりて
　今し船出の朝ぼらけ

応援歌

一、紅千里桃源の
　理想カ丘の空高く
　紫紺の征旗輝ける
　之ぞ我等が関西大学
　カイザー関大　光あり

二、若きを誇る丈夫が
　真理の討究高らかに
　求めて進む学術の
　白亜の殿堂ぞ関西大学
　カイザー関大　力あり

関西大学讃歌

北条秀司 作詞
清水脩 作曲

一、千里の森　緑深く
　真理の小径　霧白し
　天をつく巨木　蒼穹に
　琴かき鳴らし　合歓の
　炬火　いまぞ燃え立つ
　関大　関大　わが関西大学

二、大淀の流れ　永劫に
　青春の波を清け
　岸辺の牧に　白牛の群れ
　自治の青草を食む　若き鷲
　正義の翼もて
　聖空を天飛びやまず
　関大　関大　わが関西大学

三、ふりかえる　八十の春秋
　ひたすらにケルンを信じ
　あえぎ攀りし先駆の嶺
　いま頂の空はろばろ
　自由の旗雲燦として
　金色に耀けり
　関大　関大　わが関西大学

関西大学第一中学校・高等学校校歌

作詞 服部嘉香
作曲 山田耕筰

一、自然の秀麗　その気を受けて
　友むつまじく　窓は明かるく
　われらの青春　花さきにおえり
　讃えばや　いざ　いざ　いざ
　希望にあふれて　仰ぐ教えを

二、歴史と校旗の　光りを浴びて
　日に新しく　学びいそしむ
　われらの一路は　日本の道なり
　讃えばや　いざ　いざ　いざ
　文化の源（みなもと）若き力を

三、自由と平和の　誓いをこめて
　意気高らかに　今日もたゆまぬ
　われらの使命は　世界につながる
　讃えばや　いざ　いざ　いざ
　時代にさきがけ　進む誉（ほま）れを

関西大学校歌

池辺義象 作詞

一
遙に高き生駒山　溶々尽きぬ淀の水
名山大河の気を享けて　茲に成つたる我大学
浪華の梅のかぐはしく　御津の浜風いやさやに
心みがくと寄集ふ　千有余名の我が学生

二
入りてはひもとく古今の書　出ててはかたる天下の士
真理の林いや深く　正義の途を辿らなむ
濁流浪を挙げ来とも　風塵空をおほふとも
固く誓へる丈夫が　邁進するには障なし

三
思へば明治十九年　思想の海に浜荒れて
行手何処と人ごころ　迷へる中に我が輩の
行くべき道は斯くこそと　おもひ定めて学柱
太敷立てて年月を　過き来りしは何の為め

四
人権擁護は我が伴の　唯一無二の生命ぞ
国権擁護に我が伴は　萬難排して進まなむ
淀の河水浅せぬとも　生駒の山は裂けぬとも
一つ心に誓ひてし　操はかへし萬代に

お願い　学歌などの制定歌については、「千里山学報」、大学要覧により収録し、応援歌など口伝によるものは、応援団団報・千成および O・B 上野勝也氏、総監督・徳山富昭氏ほかの監修により収録しました。
なお、口伝により継承されたものは年代により歌詞に相異があると思いますので、ひろく校友諸氏から編集部にご教示ください。

関西甲種商業学校校歌

服部嘉香 作詞
目賀田萬世吉 作曲

一、正大天地の霊気を稟けて
　青年至純の胸こそ躍れ
　栄えの時代に学べる我れ等
　心の手綱引締めて
　智慧の扉を開くなる
　関甲健児の名は清し

二、勤倹克己の教を守り
　独立進取の意気をぞ示す
　若き時代に学べる我れ等
　剛健無比の体を練り
　正義の前に勇ましき
　関甲健児の名は高し

三、尊き歴史の影布く処
　出て入る千船の賑ふ港
　浪華の大都に学べる我れ等
　地の利を得たる研鑽の
　努力に偏に鞭うたば
　高き理想も手に近し

四、東西思想の集まる処
　世界商機の渦まくちまた
　浪華の大都に学べる我れ等
　希望を充たし踴躍の
　健児一たび起たん時
　国の栄はいや増さん

関西工業専門学校校歌

藤本浩一 作詞
水野康孝 作曲

一
彩霞たなびく東天に
還る時代の新潮に
どよもす声はメカニズム
吾等はここに先駆けて
たぎる生命の力もて
世紀の暁の鐘撞かむ
関西工専　関西工専
とどろくその音は関西工専

二
青雲高き大空に
崩える緑の春草に
呼び交ふ声はメカニズム
自由の天地駆け廻る
若き生命の力もて
真理の扉叩かなむ
関西工専　関西工専
とどろくその音は関西工専

三
簇立ち昇る黒煙
咆る調帯に発電機に
吾等は謳歌ふメカニズム
大都に息吹く学舎に
もゆる生命の力もて
工学の技を磨かなむ
関西工専　関西工専
とどろくその音は関西工専

四
万里の波は濤々と
旧き廃墟を洗ふ秋
轟く声はメカニズム
世紀の旋律に応えつつ
われらの生命の力もて
自由の旗を打振らむ
関西工専　関西工専
とどろくその音は　関西工専

関西大学附属第二商業学校校歌

中村良之助 作詞

一、光のもとゐ極東に
　古き歴史を称え誇る
　母校関西大学に
　競ひて立てる第二商
　集へる健児幾百ぞ

二、さすやけだかき人の格（かげ）
　あつめよ智慧の実若人よ
　母校関西大学に
　学ぶや其学風（そのふう）第二商
　いそしむ健児の雄々しさよ

三、人のよろこび地の栄え
　高く定（さだ）かに求めつゝ
　母校関西大学に
　歩みを和する第二商
　すすむ健児の志気見よや

新学生歌

明珍昇 作詞
緒方京子 作曲

一、燃ゆる生命の限りなく
　白亜の窓に競い立つ
　若木の姿さやかなり
　友よたたえよこの息吹
　真理の道を究めゆく
　我等に清き誇りあり
　関大　関大　関大　関大の我等

二、流れる淀は爽やかに
　葦原遠くわたる風
　歴史の歩みさだかなり
　友よたたえよこの伝統
　正義の光かがしゆく
　我等に愛と自由あり
　関大　関大　関大　関大の我等

三、夢みる明日を描きつつ
　大空遙か翔ける鳥
　はばたく翼力あり
　友よたたえよこの若さ
　世界に挑むおおしくも
　我等に高き理想あり
　関大　関大　関大　関大の我等

王者関大

作詩 小野栄一
作曲 吉田正

一、千里山上　火と燃えて
　闘志に充てる　我が精鋭
　母校の栄誉　今ここに
　擔い起ちたる　関大健児
　いざ、いざ、いざ　勝利へ進まん
　勇者　関大、関大

二、紫紺の征旗と　若人の
　行く手を阻む　者ぞなし
　熱血染めて　今競う
　豪気溢れる　関大健児
　打て、打て、打て　勝利を我が手に
　無敵　関大、関大

三、鍛えに鍛えし　千陵の
　健児に挑む　我が敵手
　見参（相手校名）　いざ来れ
　王者の剣は　さや走る
　見よ、見よ、見よ、勝利はほほ笑む
　王者　関大、関大

応援団節

一つとせ
　人も知ったる関大のその名も
　高き快男児
（そいつあ応援団、そいつあ応援団）

二つとせ
　古き歴史に守られて
　燃えるファイトは母校愛

三つとせ
　見れば見るほど良い男
　羽織袴の晴れ姿

四つとせ
　酔って暴れた事もある
　泣いて恋した事もある

五つとせ
　いつになったら団員に
　サボリながらも止められぬ

六つとせ
　無理な練習も根性で
　ようりょうかませばむちがとぶ

七つとせ
　情けがないのか先輩にゃ
　泣ける合宿　一週間

八つとせ
　やさしい心がわからぬか
　後輩泣かずにがんばれよ

九つとせ
　コンパコンパで夜があける
　お酒のすきな快男児

十とせ
　時は我らの登上まつ
　関大健児に栄あれ

おまけとせ
　尾張名古屋は城でもつ
　天下の関大意気でもつ

関大節

ここは浪速か大阪の町か
大阪町なら大学は関大
関西大学の学生さんは
度胸一つの男だて
度胸一つで千里の山を
登って行きます紋付はかま
紋付はかまは関大の育ち
ボロはおいらの旗印
ボロは着てても心は錦
どんなものにも恐れはしない
どんなものにも恐れはせぬが
可愛いあの娘にゃかなわない
可愛いあの娘はいつでも捨る
母校の為なら命まで
生命捨ててもその名は残る
大学関大のその名も残る
ついでに――――の名も残る
ついでに――――の名も残る

関西大学誰言うた

一、関西大学誰いうた
　千里ケ丘のその奥に
　意気な書生さんが住むという
　一度は惚れてみたいもの

二、小学中学古くさい
　文明開化の世の中で
　どうせ行くなら関大へ
　関大の書生さんは色男

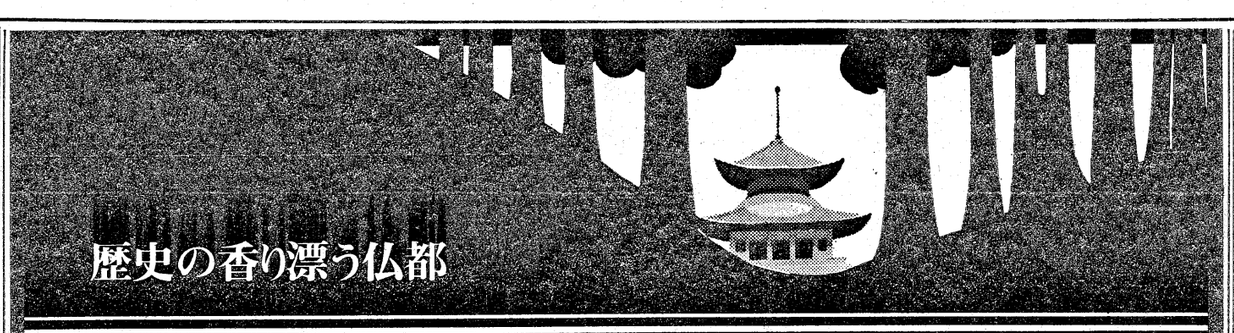
三、腰のカバンにすがりつき
　連れて行きゃんせ関大へ
　連れて行くのは安けれど
　女のすわる席はない

四、すわる席がないならば
　せめてあなたのひざの上
　共に許した仲だもの
　先生方も許すだろう

Construction Fastening Consultant

〈営業品目〉
建設用ファスナー類及び附属品の製造、販売、施工、コンサルタント、トンネル内装工事並びにその他工事の設計、施工

建設ファスナー株式会社
代表取締役　高田俊治
本社
大阪市北区老松町1－5
電話（06）－363－2501（代）
支店・営業所
東京(03)433－5611代　名古屋(052)262－5411代　岡山(0862)72－4612
札幌(011)521－2592代　京都(075)312－4947　北九州(093)581－4857代
横浜(045)641－2371代　大阪(06)363－4126代　広島(0822)91－6262
静岡(0542)82－0151代　神戸(078)671－3331代



高野山
四季おりおりの風情が訪れる人々の心を魅了する高野山―いうまでもなく弘法大師が真言密教の総本山としてひらいてから1,150余年　山上とは思われぬ平地120余の堂塔伽藍の優雅なたたずまいは　人々にやすらぎを与え　奥の院参道の墓石や供養碑は　故人のありし日の活躍を思い出させてくれます
◆交通
なんば―高野山　特急「新こうや号」1時間40分
急行30分毎運転
高野山内一帯　南海電鉄バス随時運転
南海電鉄

自動車管理専門家集団
（維持経費節減・安全・公害防止に）
煩らわしい車輌管理一切の業務代行引受
リース・年間保障契約
無線パトロールサービス
事故保険・車検・増車・廃車
校友の方には特別相談に応じます
イワオグループ
代表者　千巖克郎
（昭26、経、卒）
㈱イワオ　大阪市天王寺区玉造本町14の1　762－6741(代)
㈱厳東大阪市中野245　0729－61－4362(代)
日産チェリー販売㈱　大阪市南区上本町4の625　768－8721(代)
㈱大阪カーマーケット　東大阪市菱江361　0729－63－6773(代)
㈱イーグル　大阪市南区上本町4の625　761－7125(代)